

笑顔をお届けます！ ～図書配送を支える学校主事・主事補、学校図書館司書補の先生方～

令和5年11月【本の散歩特別号】 熊本市立図書館学校図書館支援センター発行

熊本市立図書館を中心とした全小中学校間での図書配送が始まって、今年で20年です。配送の中心は、120冊(コンテナ3箱分)の「物語定期便」で年間約9万5千冊を配送しています。また、児童生徒の皆さんが読みたい本や授業用に先生方が必要とされる本(リクエスト便)なども年間約1万3千冊配送しています。

そして、年間これだけの数の本を市立図書館・植木図書館と各学校間で公用車を使って配送しているのが、各学校の学校主事・主事補の先生方なのです。全小中学校を5つのブロックに分け、月曜は南部、火曜は中央部、木曜は東部と植木図書館から北部、金曜は西部の小中学校へ学校主事・主事補の先生が2人1組で図書を配送しています。配送は台風や大雨などの時以外は、暑い日も寒い日も関係なく、雨の日もカッパを着て、コロナに関しても全校休校の時以外はマスクをはめ、消毒しながら、可能な範囲で続けてくださいました。物語定期便やリクエスト便が各学校に届くのは、こうした児童生徒の皆さんには見えないところでの学校主事・主事補の先生方の支えがあるからこそだということを、是非、多くの方々に知っていただきたいと思います。



出発前に必ずアルコールチェックを実施



本日の図書配送の順番や数の確認



物語定期便はコンテナ3箱で120冊の本
1箱でもかなりの重さになります。

安全運転を
心がけて
さあ
公用車の
出発です。



学校の玄関の中まで運んで受け渡しをします。
バッグにはリクエスト便が入っています。



配送の図書に間違いがないか
学校でチェックしてもらいます。



届いた図書を司書補の先生が
1冊ずつチェックされます。

学校へ届いた定期便やリクエストの本と児童生徒の皆さんや授業で利用される先生方との間をつないでくださるのが学校図書館司書補の先生です。図書館の整備や貸出業務、読み聞かせなどはもちろん、児童生徒がリクエストした本や授業で必要な本を確かめて用意されます。

必要な日に合わせて、リクエストの手続きや実際の配送の受取、送り出しの処理や連絡をします。120冊の定期便が届くと児童生徒の皆さんが自由に読めるようにパソコンでの受け入れ処理をします。3, 4週間後には貸し出していた本を集め、次の学校へ配送できるよう、1冊1冊を確認・処理して準備します。

そうした司書補の先生方の作業の積み重ねと学校主事・主事補の先生方の図書配送の支えがあってこそ、たくさん本とたくさんの笑顔を見ることが出来ます。



この図書室では物語定期便の
本を並べるコーナーが用意してあります。



司書補の先生の読み聞かせの時間です。



本を開くと笑顔が広がる、
そんな図書室、学校になることを目指しています。